

看護学科

1 年

科目名: 家族看護概論				担当教員 氏名: 炭谷 靖子		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考	
1	1年次 後期	専門科目	講義	必修		
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 保健師、助産師、看護師、介護支援専門員としての地域、病院での実務経験を通して得た知見を授業内容やグループワークへの助言に含めている。						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
家族を看護の対象と捉える家族看護学の定義、家族看護学の目指すもの、方法等について学ぶ。 また、家族の機能について理解し、病院・施設在宅を問わず家族や家族員が果たす役割の重要性及び家族のセルフケア機能の向上の意義について理解し、実践可能な援助の方法を学ぶ。					家族の機能 カルガリー家族アセスメント・介入モデル 家族の健康性	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (短短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 7		
A 知識・理解力		家族という単位に対する看護を学ぶ基礎をつくるために ①家族の機能と家族員の役割について理解する ②家族を看護の対象と捉える家族看護学の定義、概念について理解する ③家族看護学の目指すものについて理解する ④家族看護の方法と理論について理解する				
B 専門的技術		⑤グループワークにより課題を遂行することによりを通してチームワークの重要性と方法について体験的に学ぶ。また、課題の遂行のためのスケジュールなどの自己管理を意識的に行う。				
D 問題解決力						
E 自己管理能力						
F チームワーク・リーダーシップ						
H コミュニケーション力						
成績評価の基準と方法: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: %	レポート: 70 %	発表: 15 %	実技試験: %	その他: 15 %		
特記事項: 講義、アクティブラーニング(課題学習、グループ討議、ロールプレイ、発表を通して、家族・家族看護についての学習を深める。)						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: テマごとにグループ発表、課題レポートの提出を行う。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 課題シートとレポートについては、後日返却する。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容		学習に必要な時間(分)
①家族看護の概念と理論(オリエンテーション) 課題1(ワークシート1)(10)				シラバスの確認		30分
②家族の機能と評価 家族と健康				課題シートの完成		180分
③カルガリー家族アセスメント・介入モデルの理論的基盤 課題2(ワークシート2・3・4)(20)				課題シートの完成		180分
④グループワークで理解を深める(5) 家族の交流についてシナリオ作成				グループ課題の遂行		240分
⑤グループワークで理解を深める(5) シナリオにそってロールプレイ				グループ課題の遂行		240分
⑥グループワークで理解を深める(5) 内容の見直しと発表計画				グループ課題の遂行		240分
⑦発表(15) 10分×4G コメント ロールプレイ				グループ課題の遂行		240分
⑧まとめ 課題3 グループワークでの学び(40)				課題レポートの作成		120分
使用テキスト: 小林奈美 :グループワークで学ぶ家族看護論, 医歯薬出版 ISBN:978-4-263-23546-1 C3047 渡部裕子 他:家族看護を基盤とした在宅看護論 I 概論編, 看護協会出版会 ISBN:978-4-8180-2098-6 C3347				その他参考文献など: 法橋尚宏 編著:新しい家族看護学 理論・実践・研究, メチカルフレンド社 家族ケア研究会:家族生活力量モデル, 医学書院 野島佐由美 監訳:家族看護学, へるす出版		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): この学習を機会に自分の家族について考え、自分のこれからの役割と行動のあり方についても考えてください。						